

HIV/AIDS

全国の保健所では、無料・匿名で HIV/AIDS 相談・検査を行っています！

HIV(human immunodeficiency virus；人免疫不全ウイルス)感染で引き起こされる、重篤な免疫機能の低下による疾患が AIDS(acquired immunodeficiency syndrome；エイズ、後天性免疫不全症候群)です。

エイズは 1981 年に米国で初めて報告され、1983 年には病原体として HIV が同定されました。元々は中央アフリカ地域の風土病でしたが、戦乱による難民化・交通機関の発達・経済活動の発展等により人の移動が起こり、全世界に広がったと考えられています。日本では 2004 年に新規の HIV 感染者・AIDS が年間 1000 名を越えました。

【症状】

- ①急性初期感染期：感染後数週間の間、発熱・咽頭痛等の感冒様の症状が見られますが、無症状の場合もあります。
- ②無症候期：①に引き続き、数年から 10 年間程度続きます。但し、この時期でも他者への感染力はあります。
- ③エイズ発症期：未治療の場合、感染から約 10 年でエイズを発症します。免疫機能が著しく低下し、様々な感染症・腫瘍・中枢神経障害を発症します。

【感染経路・予防】(日本では約 80%が国内での感染です。)

HIV は血液・精液・膣分泌物の中に存在しており、感染経路と予防法は以下の通りです。

- ①経血液：血液製剤や輸血に伴う感染は、検査方法の発達により危険性はかなり低くなりました。但し、日本では献血血液での HIV 陽性率が年々高くなってきています。検査目的で献血を行う事は慎んで下さい(なお、汚染血液は輸血されません)。また、薬物の回し打ち等で注射針を共用する事は決して行ってはいけません。
- ②性的接触：コンドームを適正に使用し、不特定多数のパートナーとの性交渉は避けましょう。
- ③母子感染：未治療で経膣分娩すると約 30%で児に感染します。妊娠中から服薬し、帝王切開術を選択し、出生児に投薬する事により、感染率を 2%以下にする事ができます。

※：握手・蚊などの刺咬・キス・風呂などの日常的な接触では感染しませんので、過剰な心配は無用です。

【治療】

治療薬の発達により予後はかなり改善しました。しかし根治的治療ではなくウイルスは残存しており、服薬中止するとウイルスが増殖してしまいます。そのため、一生服薬を続ける必要があります。

御意見・御質問などは石巻保健所健康対策班までお願いします。 電話：0225-95-1430 FAX：0225-94-7104

もっと詳しく知りたい場合は、保健環境センターHP(<http://www.pref.miyagi.jp/hokans/>)を参照してください。